

Report from SAPPORO INTERNATIONAL COMMUNICATION PLAZA FOUNDATION

公益財団法人 札幌国際プラザ活動報告

vol.93  
2021

# 時計台前から



札幌国際プラザは今年、財団設立30周年を迎えます

## ビジョン

わたしたちは、みんなにやさしく魅力と  
活力あふれる国際都市札幌を創造します。

## ミッション

- I 様々な人、文化、情報が集まり、繋がり、広がる拠点となります。
- II 市民主体の多文化交流をプロデュースします。
- III MICEを通じた人々の交流と地域経済の活性化を推進します。

# こころをつないで、みんなで前へ

TOPIC

1

## 外国人住民への情報発信や相談支援

### ● 情報の多言語化と迅速な発信

新型コロナウイルス発生当初から、外国人住民向けに多言語で情報発信をしています。札幌市や国などが発出する注意喚起や対策、在留資格に関わること、特別定額給付金や生活支援策、ワクチンなどの情報をわかりやすくまとめてホームページに掲載。また、Facebook では、令和3年8月末までに約 150 回配信しました。



さっぽろ外国人相談窓口  
ホームページ

### ● 困窮する外国人への相談支援

「コロナで仕事を失った」「アルバイトが減った」「母国の家族も困窮し仕送りが減った」という相談が多く寄せられるようになり、令和2年度の相談総件数 878 件のうち、396 件がコロナ関連の相談でした。

コロナ禍においても、体温計やアクリル板を設置し、感染対策をしっかりとった上で対面での相談対応は継続し、外国人も対象となる公的生活支援制度の申請をサポートするなど、きめ細かい支援を行いました。

また、外国人が弁護士や行政書士、税理士などの専門家に無料で相談できる「専門家相談会」に、新たにオンライン相談を導入することで、専門家への相談の機会を途切れることなく提供し続けました。



感染防止対策をとりながら、対面での相談を継続して行っています

TOPIC

2

## 食料配布で外国人をサポート

### ● 配布数：51か国・地域、延べ 2,390組 4,087人（2021年9月28日現在）

新型コロナウイルスの影響で収入が減り、食料を入手するのが難しい外国人を支援するため、「いまできるプロジェクト」として2020年6月に開始して以来、非常に多くの方々からご寄付をいただきました。おかげさまで、たくさんの方々に食料や日用品をお渡しすることができました。心より御礼申し上げます。

### 文化の違いや食のダイバーシティにも配慮しています

アレルギーや宗教上の理由などで食べられないものがある方、ベジタリアンやビーガン、味覚の違いなど、文化の違いに配慮し、事前に聞き取りの上、米や乾麺など調味料を含まない食材や、野菜、魚の缶詰など、出来るだけ各自で調理できる食材を中心に提供しています。



食料とあわせて日用品も配りました

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、私たちすべての生活や経済活動に多大な影響を与え、国際交流やMICEの分野でも活動が大きく制限されましたが、札幌国際プラザではこのような状況下でも私たちが出来ること、このような状況下でこそプラザが求められる役割を考え、取り組んでまいりましたのでご報告します。

TOPIC

3

## 留学生に少しでも元気になってもらえるように

札幌留学生交流センターでは、入居留学生の感染を予防し、安全を確保するために、様々な取り組みを行っています。

多くの施設で実践している、建物内の十分な換気やドアノブ・レバー等の消毒作業を実施するとともに、入居留学生にはマスクの着用、手指の消毒を徹底するよう指導しています。

これまで、中島公園までの往復散歩（紅葉狩り）やZOOMを使ったのオンライン新年交流会、同じく「行ってらっしゃいの会（送別会）」などを実施し、参加した皆から、「楽しかった。」「また参加したいので、ぜひ企画してください。」などの声をいただきました。



中島公園までの往復散歩

TOPIC

4

## オンラインでつながる国際交流

### 姉妹都市のロシア・ノボシビルスク市民と交流!

近年ロシアでは、茶道からアニメまで幅広い日本文化が人気を集めているそうです。9月4日(土)、ノボシビルスク市民に向けて日本のお茶文化を紹介するセミナーを行いました。長年のパートナー



集まったノボシビルスク市民の皆さん

である「シベリア・北海道」観光・姉妹都市交流センターには大勢のノボシビルスク市民が集まり、日本人のお茶の親しみ方やお茶にまつわるクイズを楽しんでいただきました。

### やさしい日本語でホームビジットを楽しもう!



ホストファミリーによるお家案内の様子

9月11日(土)、ホームステイボランティアと札幌に住む外国人市民を繋ぐ「オンラインホームビジット」を実施しました。参加した11名のゲストは、ホストファミリーから家の中を案内してもらったり、日本の風習や簡単な和食の作り方を教えてもらったりと、日本の家庭に遊びに行ったように交流を深めました。

TOPIC

5

## 「ハイブリッド会議」への助成が始まりました

会場に多くの参加者が集まる形態での会議開催が難しくなる中、オンライン参加を組み合わせたハイブリッド会議が注目されています。実会場での参加者を少数にすることで感染対策を徹底できるほか、オンラインでは海外を含め遠隔地からの参加も可能になり、ハイブリッド会議はコロナ禍での新しい会議の形として広がりを見せています。

札幌市では、オンライン化にかかる経費の一部を助成する「ハイブリッドコンベンション助成金」制度を令和3年度に新設し、本市での会議開催をサポートしています。今年度は5件の利用が予定されています(10月現在)。

# PLAZA Pickup NEWS

PICK UP

1

## 交流サロンが「Mスクエア」として生まれ変わりました!

札幌市民の国際交流の場として、長くその役割を果たしてきた交流サロンですが、札幌で生活する外国人の増加に伴い、この交流サロンを「Mスクエア」と改め、外国人住民が地域で円滑に生活するための一助となる事業を重点的に実施していくことになりました。

Mは“Multicultural (多文化の)”、“Multinational (多国籍の)”、“Multilingual (多言語の)”などを総称し、札幌市が目指す多文化共生社会を推進するための活動拠点となることを目指しています。

PICK UP

2

## 日本語事業「はじめての にほんご くらす」

札幌に住む外国人が日本語を学べるよう、「はじめての にほんご くらす」をオンラインで開催。9月26日に平仮名のクラスを、10月10日から11月14日まで6回の会話クラスを行います。会話クラスの前半は、日本語教師から基本文型などを学び、後半は日本語学習支援ボランティアと会話を練習。参加者は生き生きと学び交流も楽しんでます。

この事業のボランティアは、昨年実施した「日本語学習支援者になるためのオンライン講座」の修了者から募集。これからも、当財団は日本語教育や人材育成を行ってまいります。



オンライン授業の様子 阿部仁美講師

PICK UP

3

## チャンネル登録をお忘れなく!

国際プラザのYouTubeでは、様々なトピックで動画を配信しています。

英語で早口言葉、ロシア語の歌、ドイツのイースターなど、国際交流員が作成したそれぞれの出身国やお人柄がわかる楽しい内容となっています。ぜひのぞいてみて下さい!



英語の早口言葉



札幌国際プラザ  
YouTube チャンネル



## シンチャオベトナム! こんにちは



札幌には、令和3年8月現在の統計で1,768人のベトナム人が住んでおり、5年前の296人から約6倍も増えています。国籍別で見ると、中国、韓国に続いて3番目に多い人数です。永住者や留学生、企業で働いている人など、在留資格はさまざまです。

札幌国際プラザでも、ベトナム人スタッフが「さっぽろ外国人相談窓口」で通訳をするなど活躍しています。令和2年

3月には、当時のスタッフのアンさんがオンラインセミナーを行い、ベトナムの風習、料理、言葉などについて教えてくれました。

札幌には今、ベトナム料理のお店が次々にオープンしています。共に札幌で暮らすベトナムの方々文化に親しむためにも、まずはテイクアウトから、ベトナムを感じてみませんか?

## 小学生がオンラインで外国人にインタビュー

3月25日から計3日間の日程で開催した「SAPPORO こども特派員 2021」では、市内の小学4年生から6年生の9名が、多文化共生について学びました。

こどもたちは自宅から市内在住の3名の外国人にオンラインでのインタビューに挑戦。

外国人を、同じ町に住む身近な存在と感じると共に、札幌を「国籍や文化を越え誰にでもやさしい街」にするために何が必要かを考える機会になったようです。



顔を見ながら話せるって嬉しいね！



こちらから事業の様子が動画でご覧いただけます

## 札幌災害外国人支援チーム SAFE 誕生！

札幌で大きな災害が起きた際に、災害多言語支援センター（国際プラザ）と一緒に外国人支援にあたる「札幌災害外国人支援チーム SAFE (Sapporo Assistance for Foreigners in Emergencies)」が結成されました。チームは、災害情報の翻訳や拡散、避難所などへの巡回、相談窓口での対応や通訳などの役割を担います。

2020年度は一期生として研修と訓練を受講した9カ国18名が認定されました。2021年度も9カ国17名が認定を目指して研修を受けています。



一期生はバングラデシュ、カナダ、中国、インドネシア、フィリピン、ポーランド、タイ、ベトナム、日本の9カ国18名（札幌市長表敬にて）

## サステナブルなビジネスイベント開催都市へ

札幌市は、2008年に「環境首都・札幌」を宣言し、地球温暖化対策に積極的に取り組んでいます。2018年には「SDGs 未来都市」、2019年にフェアトレードタウンに認定。2020年には、都市の持続可能性の国際認証であるLEEDのCities and Communitiesカテゴリで、日本の都市としては初めて、最高ランクのプラチナ認証を取得しました。

札幌コンベンションビューローでは、都市の環境指標GDS-Index (Global Destination Sustainability Index)を採用し、ビジネスイベントの視点から都市の持続可能性を可視化。まちを世界基準で捉え、サステナビリティやSDGsの視点を取り入れることで、地域のレベルアップを目指しています。地元企業への取り組みとして、NPO法人コンベンション札幌ネットワークとのコラボによるカーボンオフセットプログラム（※）の提案や外国語ボランティア向けのウポポイセミナー、地域の課題解決型イベントの支援等を行っています。



絵はがき購入によるカーボンオフセット

※イベント参加者の航空機利用や宿泊等により排出されたCO2を北海道の森で吸収する環境負荷軽減プログラム

# 札幌国際プラザの主な活動をご紹介します 2020年度実績

1

## 外国人住民が安心して暮らせるための支援をしています

札幌市民として暮らす外国人は、制度や言葉、文化の違いなどから不安や悩みを抱えることも多く、相談窓口には多種多様な相談が寄せられます。

国際プラザでは、相談窓口における支援に加え、学校や保育所、区役所などにおけるコミュニケーションを円滑にするため、研修や経験を積んだ通訳ボランティアの派遣も行っています。

・令和2年度 相談件数	<b>878</b> 件
相談人数	<b>769</b> 人
国籍数	<b>53</b> か国・地域
・コミュニティ通訳派遣件数	<b>71</b> 件
・コミュニティ通訳登録者数	<b>28</b> 人
・コミュニティ通訳言語数	<b>8</b> 言語 (2021年3月末)

(英語、中国語、ロシア語、ベトナム語、タイ語、ミャンマー語、クメール語、ネパール語)

### 札幌市に住む外国人

(2021年4月1日現在)

人数 **14,010** 人

国籍数 **130** か国・地域

#### 国籍別 (多い順に5か国)

中国	<b>4,564</b> 人
韓国	<b>2,321</b> 人
ベトナム	<b>1,826</b> 人
米国	<b>545</b> 人
フィリピン	<b>485</b> 人

## 多言語ニュースレターを配信しています

登録はこちらから

配信言語数 **4** 言語 各 **35** 回 (2020年度配信回数)

登録者 **1,532** 人 (2021年3月末)

<https://www.sapporolife.info/newsletter/>

日本語、英語、中国語、韓国語で、札幌市からのお知らせ、くらしや保健・医療、イベント、防災などの情報をEメールで届けています。過去の配信内容を読むこともできます。



2

## 多文化共生・国際交流のための様々なイベントを開催しています

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、開催を断念したイベントもありましたが、プラザではオンライン会議システムを活用するなど、コロナに負けないイベント実施に取り組みました。

イベント開催数 **56** 件  
(うちオンライン開催など **32** 件)

参加者数 **3,258** 人

(外国人のための食料支援事業の来館者をのぞく)

### 2020年度の事業

- ・外国人のための各種相談会・セミナー
- ・日本語で話そう!
- ・各国を知るセミナー
- ・どこでもおしゃべり
- ・SAPPORO こども特派員 2021、etc.



ロシアを知るセミナー

### 3

## 様々なボランティアが活躍しています

多文化共生の実現や国際交流、MICEのサポートのために、様々な市民によるボランティアがプラザとともに活動しています。(2020年度は一部を除き活動を休止しました。)

札幌国際プラザのボランティア組織

### 外国語ボランティア

外国人住民等の生活支援活動や海外からの来訪者への情報提供等、コミュニケーションのお手伝いをします。

### ホームステイボランティア

国際交流等を目的に札幌を訪れるゲストを、家庭に受け入れます。

### 日本文化体験ボランティア

国際交流の場で日本文化体験の機会を提供しています。

### さっぽろコミュニティ通訳

学校や保育所、区役所などで相談や手続きの通訳をします。

### さっぽろ外国人市民パートナー

外国人住民が自らの経験や文化的背景を生かす活動をします。

### 札幌災害 外国人支援チームSAFE

札幌で大きな災害が起きたとき、災害多言語支援センターと協力して情報の翻訳や通訳などをします。

### フローラルアートグループ

日本のいけ花によって国際プラザの来訪者をやさしく迎えます。

### 4

## 留学生が安心して生活できる専用宿泊施設を運営しています

札幌留学生交流センターでは、留学生が安心して快適に札幌で生活できるように、住環境を整えています。



### 入居状況

札幌留学生交流センターには、単身用居室が 80 室、世帯用居室が 20 室の合計 100 室があります。

入居世帯数 **54** 世帯

入居総人数 **66** 人 (家族を含む)

(2021年3月末現在)

入居留学生からは様々な相談が寄せられます。この1年半は、感染拡大がもたらした影響が大きく、相談の多くが生活費に関するものでしたが、職員が親身になって対応しています。

一昨年までは、様々なイベントを数多く開催して、留学生も楽しく生活していました。以前のような生活が戻ることを待ち望んでいます。

### 5

## MICE 誘致を進めています

・参加した MICE 専門見本市・セミナー **7** 回 (2020 年度)

・海外バイヤーとの商談数 **21** か国 **132** 件 (2020 年度)

MICE: 企業等の会議 (Meeting)、報奨旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) 等のビジネスイベントの総称

都市機能と自然が融合した札幌は、世界でも特色のある MICE 都市です。

コンベンションビューローではこの魅力を伝えるために MICE 専門見本市に参加し、海外の旅行会社やプランナーなどと直接商談を行っています。

2020 年からはコロナ禍の影響でオンラインに移行した見本市にも積極的に参加し、流行収束後に北海道との往来回復が早期に見込まれる東アジア・東南アジアのバイヤーに対し、継続的に情報を発信。コロナ後に向けては、豊かな自然の中で新たな発想や創造性を生む北海道・札幌らしい MICE も提案しています。



「オリンピックの風が吹く絶景ジャンツェで、極上の北海道の味を愉しむ『大倉山ジャンプ競技場』  
(日本政府観光局 (JNTO)「ポストコロナにおけるインセンティブ旅行コンテンツ」採択)

## プラザサポーターズ 札幌国際プラザ賛助会員企業のご紹介

北海道・札幌のまちをより良くしたい、元気にしたい、  
そんな法人賛助会員の皆様の地域貢献活動や、地域へそぞろ熱い思いをご紹介します

### HAJ 株式会社 北海道アルバイト情報社

ジョブキタでは、札幌国際プラザ・札幌市と協定を結び、生活や就労の相談などを相互につなげるほか、アルバイトの面接や応募に役立つセミナーの開催など、札幌に住む外国人の就労支援に協力させていただいています。

外国人の国際感覚を自社にて活用したい、多言語化に対応できるようにしたいとお考えの企業や、具体的では無いけれど将来的に外国人の雇用を検討したい、特定技能について教えて欲しいなど、外国人雇用に関するご相談も承ります。アルバイトやインターンシップからお試しいただくことも出来ます。人材のマッチング、採用のサポートなど、ジョブキタ紹介にぜひご相談ください。



札幌ドームは、スポーツ・エンターテインメントの発信地として感動を創り出し、地域社会の発展に貢献していきたいと考えております。

北海道で唯一、いちどに4万人を超える人数を収容できる札幌ドームでは、これまで様々なビッグイベントが開催されましたが、今年は東京2020オリンピック競技大会のサッカー競技会場にもなりました。

開業20周年を迎え、改めて、これまでご来場いただいた皆様に感謝をお伝えするとともに、今後は未来に向けて新しい札幌ドームの形を発信していきたいと考えております。



### ■活動を支えて下さる賛助会員を募集しています

札幌国際プラザは、みんなにやさしく魅力と活力あふれるまちを目指し、在住外国人支援や異文化理解・国際交流の推進、国際会議や企業旅行などの誘致を図ってまいります。さらに充実した活動を続けていくために、賛助会員としての継続的なご支援をお願いいたします。

法人会員：120団体 個人会員：327名 (2021年3月31日現在)

年会費：法人1口 20,000円、個人1口 3,000円 ※1口以上、何口でも結構です。

※当財団へのご寄付は、寄付金控除等の税の優遇措置の対象となります。

ご入会・お問い合わせはウェブサイト (<https://www.plaza-sapporo.or.jp/support/>) または右のQRコードから、または企画事業部総務企画課までお問い合わせください。  
TEL: 011-211-3670 Email: sanjo@plaza-sapporo.or.jp



賛助会員のページ

### ■「時計台前から」の発行が、年1回になります

今後は公式ホームページ・公式Facebookなどを活用し、より新鮮で充実した情報をお届けしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

札幌国際プラザ公式ホームページ  
<https://www.plaza-sapporo.or.jp/>  
新しくプラザのイベントスケジュールが見られるようになりました!



■編集・発行 札幌国際プラザ

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3F  
Kita1 Nishi 3, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 JAPAN

TEL: 011-211-3670

URL: <https://www.plaza-sapporo.or.jp/>

FAX: 011-211-3673

E-mail: [sicpf@plaza-sapporo.or.jp](mailto:sicpf@plaza-sapporo.or.jp)

■印刷

(特非)障がい者就労支援の会

北海道の森林保全と環境への配慮のため、道産間伐材を原料にした用紙、植物油インキを使用しています。